

②生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上

## 「滋賀羽二重糯」を使用した“豆大福”等の開発・販売

生産者を特定し、生産履歴を管理して、農薬・化学肥料の使用を減らした方法によって栽培された滋賀羽二重糯(もち米の代表品種)、赤えんどうを使用し、豆大福等の開発・販売を行う。

### 連携体

農林漁業者

お米の家倉 (農業)

安定生産可能な栽培技術を活かし、高品質な滋賀羽二重糯・赤えんどう・小豆の栽培に取り組む。

中小企業者

(有)菓匠禄兵衛 (食料品製造業)

独自の販売理念のもと、和菓子の商品開発力、製造ノウハウ、販売ルートを活用し、こだわりの豆大福等を製造・販売する。

連携参加者

(有)サン愛ブレンド(技術サービス業)

お米の家倉に対して、農薬・化学肥料を使用しない農作物の栽培指導を行う。

サポート機関等

滋賀県農業会議、(財)滋賀県産業支援プラザ、地域活性化支援事務局

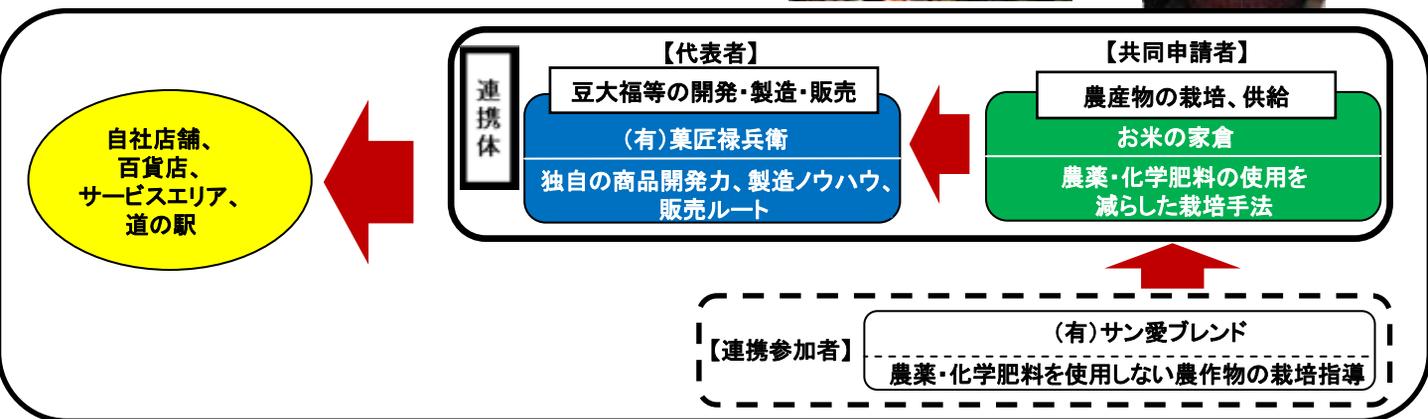
### 連携の経緯

代々受け継がれてきた熟練の栽培技術と、無農薬栽培歴4年の栽培技術を用い、循環型農法に取り組むお米の家倉と、独自の商品開発力、販売ルートを持ち、新たな和菓子の販売スタイルに取り組む(有)菓匠禄兵衛の思いが一致し、豆大福等の開発・販売を行うため連携することとなった。



### 連携に当たっての課題や工夫等

お米の家倉は、出穂期に光合成を促進する醗酵糖蜜の葉面散布と和菓子の製造工程で発生する卵の殻等の有効活用による循環型農法の構築に取り組む。(有)菓匠禄兵衛は、産地が特定出来る安全・安心で高品質な滋賀羽二重糯、赤えんどう、小豆を使用して、添加物を使わずに豆大福等の製造、販売を行う。



### 連携による効果

農林漁業者

5年で300万円の売上高増加、循環型農法の構築

契約栽培により経営の安定化を図るとともに、新規作物の栽培に取り組むことで売上高の増加が期待される。

中小企業者

5年で2,250万円の売上高増加、地元雇用4人の増加

新たな定番商品となる豆大福等を開発することで、販路の拡大と収益性の向上が図られる。

### 代表企業等の連絡先

企業等名 : 有限会社菓匠禄兵衛  
TEL : 0749-82-2172  
E-mail : gfb04632@nifty.com

所在地 : 滋賀県長浜市木之本町木之本1087  
FAX : 0749-82-3242  
ホームページ : <http://www.rokube.co.jp/>